

TEAPでは、障がい等のある方に受験上の配慮を行います。

受験上の配慮を希望する場合は、**受験申込と同時に「TEAP受験上の配慮申請書」の提出が必要**となります。

「TEAP受験上の配慮要項」、各障がいの「受験上の配慮対応一覧」をご確認の上、申請してください。

公益財団法人 日本英語検定協会 TEAP運営事務局 TEL: 03-3266-6556

申請受付期間

9月7日（月）～ **9月30日（水） 必着**

- 試験実施環境の設定、試験資材の用意が必要なため、原則として期限を過ぎた申請については対応いたしかねます。

申請時の注意

- **障害程度等級の有無などにより、申請できる配慮の内容が異なります。**
各障がいの受験上の配慮対応一覧をご確認の上、申請してください。
- 申請後の申請内容の変更はできません。
- 配慮内容によっては同一地域の別会場での受験をお願いすることがあります。
- 一部の技能が免除になった場合も受験料は減額されませんのでご了承ください。
- 試験監督者は移動や試験の補助のみを行います。
トイレや体位固定などに介助が必要な方は、介助者をご自身で確保し、申請してください。

申請方法

- インターネットでTEAPの受験申込を行った上で、上記申請受付期間内（締日必着）に受験上の配慮申請書の提出が必要です。
※TEAP CBTを受験される方は受験上の配慮の申請はできません。

提出書類

- ① TEAP受験上の配慮申請書
- ② 障がい等に応じた『障害手帳』のコピーまたは配慮が必要な理由が書かれている医師の診断書等 ※
- ③ 状況報告書 …一部の配慮のみ。左記書類が必要な配慮には対応一覧と申請書に「★」印がついています。※
※年度の切り替わり後1回目の受験の場合は、必ず提出が必要です。診断書と状況報告書の有効期限は発行日から1年間とします。
※年度内に診断書等を提出して配慮を受けた方で、TEAP IDと配慮内容に変更がない場合は診断書等と状況報告書の再提出は不要とします。
※年度内であっても、TEAP IDを変更した場合や配慮内容を変更する場合は、再度すべての書類を提出してください。

提出方法

- 提出書類をすべてそろえた上で、公益財団法人 日本英語検定協会 TEAP受験上の配慮係（〒162-8055 東京都新宿区横寺町55）に簡易書留郵便により送付してください。

個人情報の取り扱いについて

1. 協会の個人情報の取り扱いについては「個人情報保護方針」をご覧ください。 個人情報保護方針 <https://www.eiken.or.jp/privacypolicy/>
2. 当テストの申込者および受験者の個人情報は、法令に基づく場合を除き、TEAP受験規約に示された【個人情報の利用目的】のために利用し、それ以外の目的に利用する場合は申込者または受験者の同意を得た上で行います。なお、統計資料等については、個人が特定できないよう加工した上で学会発表、パンフレット等において利用いたします。
3. 当テスト申込者または受験者の個人情報は、業務運営に際し、必要最小限の範囲で委託先に委託することがあります。
4. 受験者の成績結果等の個人情報は、大学等の受験に必要な範囲において、当該大学等の依頼に基づき、協会から当該大学等へ提供されることがあります。この場合、TEAP受験規約への同意をもって、当該個人情報を大学等へ提供することに同意したものとみなします。
5. 申込者または受験者の個人情報の協会への提供は、受験者の任意ですが、必要な情報が提供されない場合は、当テストの受験、採点処理、成績結果の発行、当該個人情報の大学等への提供ができない場合があります。その際、協会は何らの責任を負いません。



切手
貼付欄

東京都 新宿区 横寺町 五五

公益財団法人 日本英語検定協会

TEAP 受験上の配慮係 行

受験上の配慮申請書 在中

簡易書留郵便

以下にチェックをしてください

申請に必要な書類はすべて同封しました

受験番号

ハイフンなし
左詰め記入

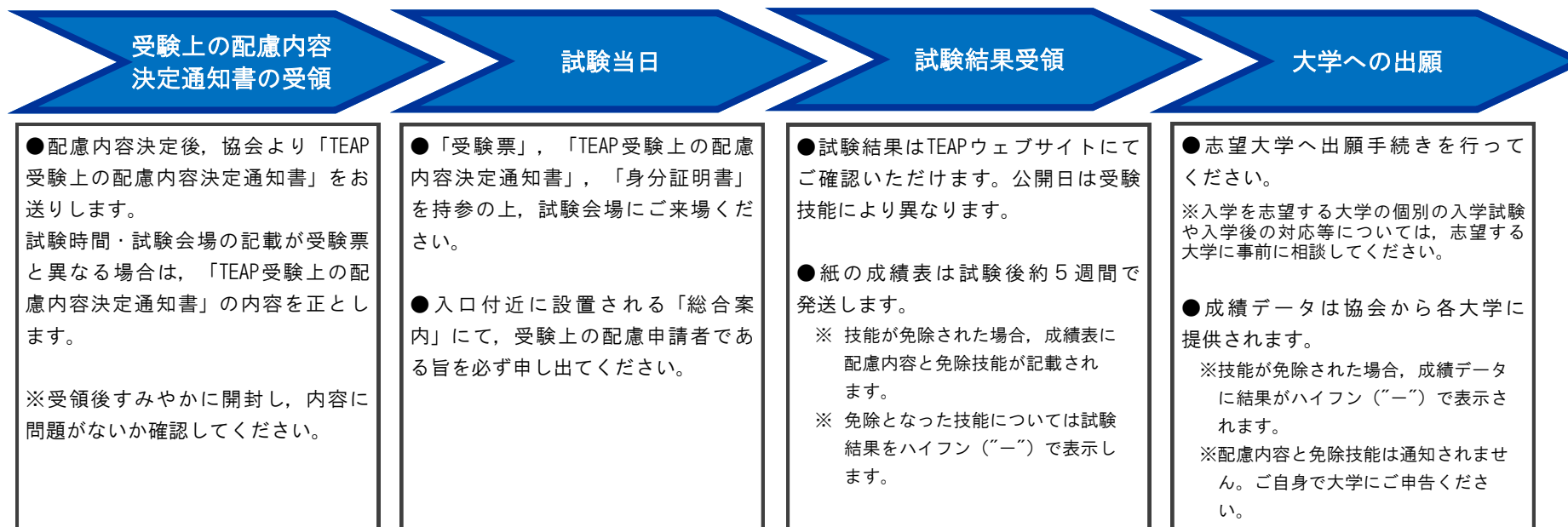
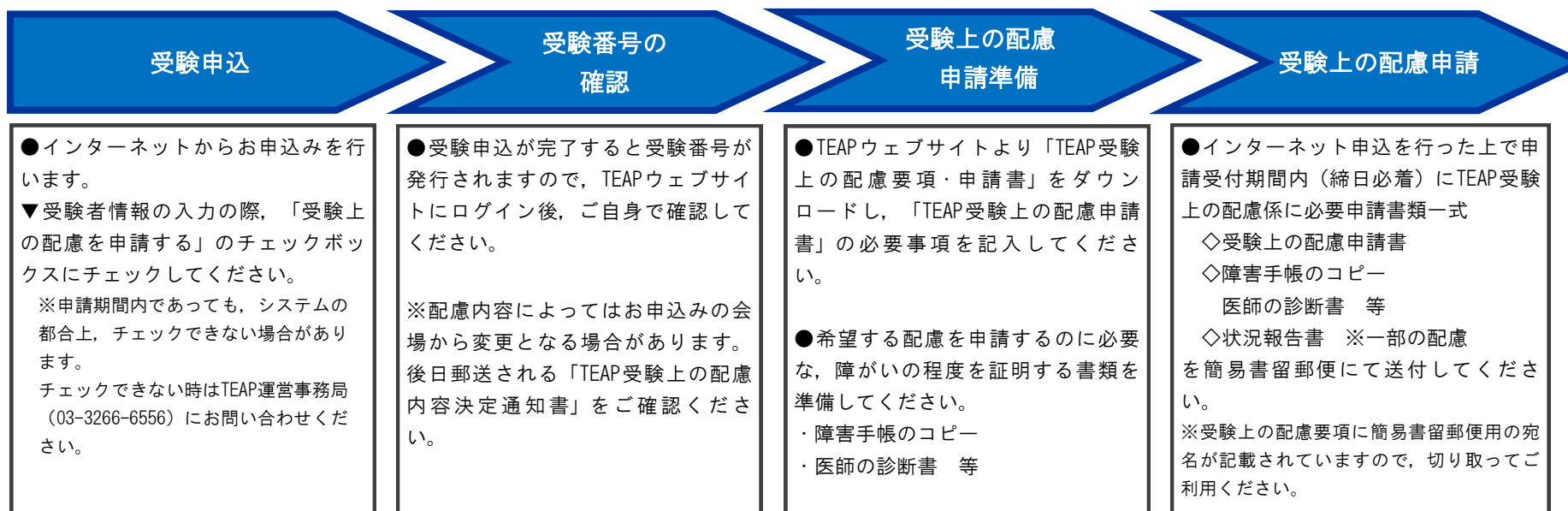
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↑ 郵送の際、切り取ってご利用ください

目 次

障 が い の 分 類	対 応 一 覧 ・ 申 請 書	ペ ー ジ
TEAP 受験上の配慮要項		・・・P. 1
TEAP 受験上の配慮 受験の流れ		・・・P. 3
視 覚 障 が い	視覚障がい 受験上の配慮対応一覧	・・・P. 4
	【視覚障がい】受験上の配慮申請書	・・・P. 6
聴 覚 障 が い	聴覚障がい 受験上の配慮対応一覧	・・・P. 7
	【聴覚障がい】受験上の配慮申請書	・・・P. 8
	状況報告書（リスニングテスト免除）	・・・P. 9
	状況報告書（スピーキングテスト免除）	・・・P. 10
肢 体 不 自 由	肢体不自由 受験上の配慮対応一覧	・・・P. 11
	【肢体不自由】受験上の配慮申請書	・・・P. 13
	状況報告書（ライティングテスト免除）	・・・P. 14
病 弱 ・ そ の 他	病弱・その他 受験上の配慮対応一覧	・・・P. 15
	【病弱・その他】受験上の配慮申請書	・・・P. 18
	状況報告書（時間延長）	・・・P. 19
	状況報告書（別室 時間延長なし）	・・・P. 20
	状況報告書（スピーキングテスト免除）	・・・P. 21

TEAP 受験上の配慮 受験の流れ



受験上の配慮 の対象者	Reading/Listening共通		Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容 形式	試験 教室	特記事項	試験 時間	特記事項	試験 時間	
全盲	【点字】 点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法です。 ※2019年度よりUEBで出題しています。		●時間延長		●解答時間 延長 （通常10秒→20秒）		
障害等級が 6級程度より 重度の視覚 障がい者	【拡大墨字A3】 弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。	別室	●【Part 2 A 図表の読み取り】 困難の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題します。	120分	●【Part 1 C 図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り】（5問） 免除	約55分	●点字機器の持参使用 （点字盤／パーキンス） ●ルーペ・拡大機器等の持参使用 ●照明機器等の持参使用 ●触知時計の持参使用 ●介助者の同伴 （試験中は除く） ●乗用車での来場
	【普通墨字A4】 弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。		●【Part 3 B 長い英文の読み取り（図表も含む）】 困難の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題します。		●【Part 2 B 長い英文の聞き取り（図表も含む）】 困難の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題します。		
	【オプテスコープ】 弱視用の普通墨字A4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプテスコープで拡大して受験し、直接問題冊子に○をつけて解答する方法です。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意、持込、設営、撤収を行っていただきます。						
上記以外の 視覚障がい者	【文字解答】 他の受験者と同様に通常問題冊子を使用して受験しますが、マークシートではなく、文字解答用紙に解答番号を書き込む方法です。	一般 同室	—	通常 （70分）	—	通常 （約50分）	

受験上の配慮 の対象者	Writing				Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験 教室	試験 時間	受験上の配慮の内容		試験 教室	試験 時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
全盲	【点字】 点字（2級点字（縮約使用））の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法です。 ※2019年度よりUEBで出題しています。				【点字】 点字（2級点字（縮約使用））のトピックカードを使用して受験します。 ※2019年度よりUEBで出題しています。	●点字受験者心得を用意します。			
障害等級が 6級程度より 重度の視覚 障がい者	【拡大墨字A3】 弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック系文字）を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答を書き込む方法です。	●時間延長	別室	90分	【拡大墨字A3】 25Pゴシック系文字を使用した拡大トピックカードで受験します。	●拡大墨字受験者心得を用意します。	一般同室 (優先受験)		●トピックカードの読み取り時間の延長
	【普通墨字A4】 弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック系文字）を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答を書き込む方法です。	●問題文中の図表については、困難の度合いを考慮し、グラフまたは数値化等で出題します。			【普通墨字A4】 18Pゴシック系文字を使用したトピックカードで受験します。	●普通墨字受験者心得を用意します。			
	【オプチスコープ】 弱視用の普通墨字A4問題冊子（18Pゴシック系文字）をオプチスコープで拡大して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答を書き込む方法です。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意、持込、設営、撤収を行っていただきます。				【オプチスコープ】 通常のトピックカードをオプチスコープで拡大して受験します。 ※機器は受験者ご自身（介助者を含む）で用意、持込、設営、撤収を行っていただきます。	●普通墨字受験者心得を用意します。	別室 ※機器設置・撤収のため (優先受験)		
上記以外の 視覚 障がい者	【文字解答】 他の受験者と同様に通常問題冊子を使用し、解答を文字解答用紙に書き込む方法です。	-	一般 同室	通常 (70分)	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考慮し、優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。	-	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)	●点字機器の持参使用 (点字盤/パーキンス) ●ルーペ・拡大機器等の持参使用 ●照明機器等の持参使用 ●触知時計の持参使用 ●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場

フリガナ		受験番号				-								
氏名		受験会場												

問合せ先 電話番号		→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は、ご氏名と受験者との関係をご記入ください。
		氏名： _____ 受験者との関係： _____

■ 申請する配慮 (✓をつけ、必要に応じて特記事項を記入)

※リスニングテストで図表問題が免除された場合、成績表に配慮内容と免除パートが記載されます。

障害等級	申請する配慮				機器の持参使用	
	時間配慮	Reading	Listening	Writing		Speaking
あり 視覚 等級	時間延長	✓ 点 字 ⇒ 点 字 ⇒ 点 字 ⇒ 点 字				✓ 点 字 盤 ✓ パーキンス ✓ ルーペ・拡大機器
		✓ 拡大墨字 A3 ⇒ 拡大墨字 A3 ⇒ 拡大墨字 A3	✓ 拡大墨字 A3			✓ オプチスコープ
		✓ 普通墨字 A4 ⇒ 普通墨字 A4 ⇒ 普通墨字 A4	✓ 普通墨字 A4			✓ 照明機器
		✓ オプチスコープ ⇒ オプチスコープ ⇒ オプチスコープ	✓ オプチスコープ			✓ 触知時計
上記以外の視覚障がい	延長なし	✓ 文字解答 ⇒ 文字解答 ⇒ 文字解答 ⇒ 優先受験				希望する配慮
特記事項						✓ 介助者の同伴 (試験中は除く) ✓ 乗用車での来場 ⇒ 「車種」「車輛No. (地域を含めた全て)」を特記事項に記載

受験上の配慮の対象者	Reading				Listening				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
障害等級が6級程度より重度の聴覚障がい者	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため、スピーカー近くに座席を配席して受験します。 ※強音放送のみ	●受験者心得を文字で提供します。	別室	通常 (70分)	【リスニングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し、リスニングテストを免除します。	-	-	-	●補聴器等の使用
	【強音放送】 リスニングテストを別室にてボリュームを上げて受験します。				-	別室	通常 (約50分)		
上記以外の難聴者	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため、スピーカー近くに座席を配席して受験します。	-	一般同室	通常 (70分)	【座席配置】 スピーカー近くに座席を配席して受験します。	-	一般同室	通常 (約50分)	

受験上の配慮の対象者	Writing				Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
障害等級が6級程度より重度の聴覚障がい者	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため、スピーカー近くに座席を配席して受験します。 ※強音放送のみ	●受験者心得を文字で提供します。	別室	通常 (70分)	【スピーキングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し、スピーキングテストを免除します。	-	-	-	●補聴器等の使用
	【FC+口話】 Examinerからの指示・質問およびPart 2でのロールプレイでは、英文が書かれたフラッシュカード (FC) を提示します。受験者は口頭で応答・発問します。				●受験者心得を文字で提供します。	一般同室 (優先受験)	フラッシュカード提示のため、通常時間よりは長くなります。		
上記以外の難聴者	【座席配置】 リスニングテストの座席配置配慮のため、スピーカー近くに座席を配席して受験します。	-	一般同室	通常 (70分)	【大声】 初めに聞こえ具合を確認し、大きめの声で行います。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。	-	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)	

フリガナ		受験番号				-							
氏名		受験会場											

問合せ先電話番号		→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は、ご氏名と受験者との関係をご記入ください。
氏名:		受験者との関係:

■ 申請する配慮 (✓をつけ、必要に応じて特記事項を記入)

※技能が免除された場合、成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※免除となった技能については試験結果をハイフン「-」で表示します。

障害等級	申請する配慮					機器の持参使用
	時間配慮	Reading	Listening	Writing	Speaking	
あり 聴覚 等級	配慮なし	・ 座席配置 ☆	✓ 免除 ★ ✓ 強音放送 ☆	⇒ 座席配置 ☆	✓ 免除 ★ ✓ FC + 口話	✓ 補聴器 ✓ FMマイク付き補聴器
上記以外の聴覚障がい	配慮なし	・ 座席配置 ☆	✓ 座席配置 ☆	⇒ 座席配置 ☆	✓ 大声 ✓ 一般と同一	
特記事項						<p>★マークがついている配慮については、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否は、審査の上、判断します。</p> <p>☆「強音放送」「座席配置」を希望する方は障がいの程度と“右耳失聴、左耳難聴”等のコメントを特記事項に記入してください。</p>

フリカナ		
氏名		

受験番号				-				-				
------	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--

記入について

○この報告書は、スピーキングテストの免除を申請するにあたり、受験者の高等学校等でのスピーキングの学習状況や、スピーキングテスト(学内試験等)の実施状況等を具体的に記入していただくもので、受験上の配慮に対する意見や要望等を記入していただくものではありません。

○音声言語障がいによりスピーキング免除を申請する場合は、「病弱・その他」の状況報告書をご提出ください。

▼高等学校に在籍中の受験者 ⇒高等学校の担当者(学級担任等)が記入してください。

▼高等学校等に在籍していない受験者

1. 外部教育機関(予備校等)に所属しており、配慮を受けている場合 ⇒外部教育機関のカウンセラー等、支援担当者が記入してください。
2. 高等学校等で配慮を受けていた者で、申請時に外部教育機関(予備校等)に所属していない場合、外部教育機関(予備校等)で配慮を受けていない場合 ⇒保護者等が、状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

スピーキングの授業についてお知らせください。	スピーキングテストについてお知らせください。	詳細記入欄
<input checked="" type="checkbox"/> 授業を通常どおり受けている。	<input checked="" type="checkbox"/> テストを通常どおり受けている。	(授業またはテストで配慮を行っているにご回答いただいた場合は、その詳細と配慮が必要な理由を記載してください)
<input checked="" type="checkbox"/> 授業を受ける時に配慮を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> テストを受ける時に配慮を行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴う授業を免除している。	<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴うテストを免除している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴う授業が無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴うテストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。

記入日： 年 月 日

記入者署名：



受験者との関係：

受験上の配慮 の対象者	Reading/Listening共通		Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容	試験 教室	特記事項	試験 時間	特記事項	試験 時間	
	形式						
障害等級が 4級程度より 重度の上肢障 がい者で書字 ができない または著しく 困難な者	【口述解答】 上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に、受験者が口述した解答の選択肢を試験監督者がマークシートに転記する方法です。	別室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	<ul style="list-style-type: none"> ●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場
	【チェック解答（時間延長あり）】 マークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法です。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用します。	別室	●時間延長	105分	●解答時間延長 (通常10秒→20秒)	約60分	
上記以外の 上肢障がい者	【チェック解答（時間延長なし）】 マークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法です。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）と普通（A4）の内、どちらかを使用します。	一般同室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	
下肢障がい者 体幹機能 障がい者	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	一般同室 又は 別室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	

受験上の配慮 の対象者	Writing				Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験 教室	試験 時間	受験上の配慮の内容		試験 教室	試験 時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
障害等級が 4級程度より 重度の上肢障 がい者で書字 ができない または著しく 困難な者	【ライティングテスト免除】★ 困難の度合いを考慮し、ライティングテ ストを免除します。	—	—	—	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考 慮し、優先的に面接室への 案内・受験を行う配慮で す。 スピーキングテストの実施 方法、採点方法は通常通り です。	—	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 机の持参使用 ● 車椅子の持参使用 ● 介助者の同伴 (試験中は除く) ● 乗用車での来場 ● キーボードの持参使 用 ● マウスの持参使用
	【拡大解答用紙への解答】 拡大解答用紙に解答する方法です。 解答用紙は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と 普通 (A4) の内、どちらかを使用します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間延長 ● 問題冊子は通常のも のを使用します。 	別室	105分					
	【タブレットPCによる解答】◆ 上肢が不自由なため自書が困難な場合に、 協会が準備するタブレットPCを用いて、テ キスト文書を作成して解答する方法です。 機器の確認・同意書提出のうえ、審査が必 要です。 ※タブレットPCにはタッチペンが付属して います。 ※Wordなどの文章作成ソフトは使用できま せん。	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間延長 ● 事前申請により許可 ・キーボード持込 ・マウス持込 USB差込口は1つです。 ※個人PCの持込不可。 ソフトウェアのインス トール不可。 	別室	105分					
上記以外の 上肢障がい者	【拡大解答用紙への解答】 拡大解答用紙に解答する方法です。 解答用紙は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と 普通 (A4) の内、どちらかを使用します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題冊子は通常のも のを使用します。 	一般同室	通常 (70分)					
下肢障がい者 体幹機能 障がい者	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮し ます。 ※会場設備により別室受験となる場合があ ります。	—	一般同室 又は 別室	通常 (70分)					

フリガナ		受験番号				-							
氏名		受験会場											

問合せ先電話番号		→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は、ご氏名と受験者との関係をご記入ください。
氏名:		受験者との関係:

■ 申請する配慮 (✓をつけ、必要に応じて特記事項を記入)

※技能が免除された場合、成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。

※免除となった技能については試験結果をハイフン「-」で表示します。

障がいの状況		申請する配慮				希望する配慮	
		時間配慮	Reading	Listening	Writing		Speaking
等級あり	上肢	延長なし	✓ 口述解答(代筆) ⇒ 口述解答(代筆)		✓ 免除 ★ ✓ タブレットPC解答 ◆	⇒ 優先受験	✓ 机の持参使用 ✓ 介助者の同伴(試験中は除く) ✓ 乗用車での来場 ⇒ 「車種」「車両No.(地域を含めた全て)」を特記事項に記載
	等級	時間延長	✓ チェック解答 拡大A3 ⇒ チェック解答 拡大A3 ✓ チェック解答 普通A4 ⇒ チェック解答 普通A4		⇒ 拡大解答用紙 A3 ⇒ 普通解答用紙 A4	⇒ 優先受験	
上記以外の上肢障がい		延長なし	✓ チェック解答 拡大A3 ⇒ チェック解答 拡大A3 ✓ チェック解答 普通A4 ⇒ チェック解答 普通A4		⇒ 拡大解答用紙 A3 ⇒ 普通解答用紙 A4	⇒ 優先受験	✓ キーボードの持参使用 ◆ ✓ マウスの持参使用 ◆ ✓ その他 ⇒ 特記事項に記載
下肢障がい 体幹機能障がい		独歩可能(杖の使用などを含む)	✓ 一般と同一(誘導・試験教室等の配慮)			⇒ 優先受験	★ マークの配慮は、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否は、審査の上、判断します。 ◆ マークの配慮は、受験上の配慮申請必着日までにPC使用同意書の提出と持込機器の申請が必要(受験上の配慮申請書提出後に協会より書式を送付)
		車椅子利用	● 歩行困難な受験者にはエレベーター設備のある会場または1階に試験室のある会場を指定します。 ● 車椅子使用の受験者は座席配置を考慮します。				
特記事項							

フリカナ		
氏名		

受験番号				-				-				
------	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--

記入について

○この報告書は、ライティングテストの免除を申請するにあたり、受験者の高等学校等での学習状況や、テスト（学内試験等）の実施状況等を具体的に記入していただくもので、受験上の配慮に対する意見や要望等を記入していただくものではありません。

▼高等学校に在籍中の受験者 ⇒高等学校の担当者（学級担任等）が記入してください。

▼高等学校等に在籍していない受験者

- 外部教育機関（予備校等）に所属しており、配慮を受けている場合 ⇒外部教育機関のカウンセラー等、支援担当者が記入してください。
- 高等学校等で配慮を受けていた者で、申請時に外部教育機関（予備校等）に所属していない場合、外部教育機関（予備校等）で配慮を受けていない場合 ⇒保護者等が、状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

「長文を書く」授業の学習方法についてお知らせください。 ※英語の授業に限りません。	「長文を書く」テストの解答方法についてお知らせください。 ※英語のテストに限りません。	詳細記入欄 <small>(授業またはテストで配慮を行っているにご回答いただいた場合は、その詳細と配慮が必要な理由を記載してください)</small>
✓ 配慮を行っている。	✓ 配慮を行っている。	
✓ 配慮を行っていない。	✓ 配慮を行っていない。	
✓ 「長文を書く」授業が無い。	✓ 「長文を書く」テストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。

記入日： 年 月 日

記入者署名：



受験者との関係：

受験上の配慮の対象者	Reading/Listening共通		Reading		Listening		許可事項
	受験上の配慮の内容 形式	試験 教室	特記事項	試験 時間	特記事項	試験 時間	
病弱	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	一般同室 又は 別室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場
	【別室(時間延長なし)★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。 試験方法は一般と同一です。	別室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	
発達障がい その他	【座席配置】 受験者の状況により教室内での座席を予め設定 します。試験方法は一般と同一です。	一般同室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場
	【時間延長★】 学習障がい等により必要と判断された場合は、 試験時間を延長し、別室での受験を設定しま す。 技能別に申請できます。	別室	●時間延長	105分	●解答時間延長 (通常10秒⇒20秒)	約60分	
	【別室(時間延長なし)★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別 室での受験を設定します。試験方法は一般と同 一です。	別室	—	通常 (70分)	—	通常 (約50分)	

★マークがついている配慮については、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。配慮の適用可否については、審査の上、判断します。

受験上の配慮の対象者	Writing				Speaking				許可事項
	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	受験上の配慮の内容		試験教室	試験時間	
	形式	特記事項			形式	特記事項			
病弱	【一般と同一】 試験会場内での移動や座席の配置に配慮します。 ※会場設備により別室受験となる場合があります。	—	一般同室 又は 別室	通常 (70分)	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考慮し、優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。	—	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)	<ul style="list-style-type: none"> ●机の持参使用 ●車椅子の持参使用 ●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。試験方法は一般と同一です。	—	別室	通常 (70分)					
発達障がい その他	【座席配置】 受験者の状況により教室内での座席を予め設定します。試験方法は一般と同一です。	●解答方法 マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資材を転用できます。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載してください。	一般同室	通常 (70分)	【優先受験】 受験者の困難の度合いを考慮し、優先的に面接室への案内・受験を行う配慮です。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。	—	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)	<ul style="list-style-type: none"> ●介助者の同伴 (試験中は除く) ●乗用車での来場
	【時間延長★】 学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定します。技能別に申請できます。		別室	105分					
	【別室（時間延長なし）★】 受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定します。試験方法は一般と同一です。		別室	通常 (70分)					

★マークがついている配慮については、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。審査の上、配慮の適用可否を判断します。

受験上の配慮 の対象者	Reading/Listening/Writing		Speaking			許可事項	
	受験上の配慮の内容		受験上の配慮の内容		試験 教室		試験 時間
	形式		形式	特記事項			
器質性・ 運動障がい性	通常受験	【スピーキングテスト免除★】 受験者の困難の度合いを考慮し、スピーキングテストを免除します。	—	—	—	●介助者の同伴 (試験中は除く)	
		【発話への配慮】 話が詰まる、大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え、注意して聞くよう配慮します。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。※各パートには制限時間があります。	—	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)		
吃音症 その他	通常受験	【発話への配慮】 話が詰まる、大きな声が出ないなどの状況をExaminerに伝え、注意して聞くよう配慮します。 スピーキングテストの実施方法、採点方法は通常通りです。※各パートには制限時間があります。	—	一般同室 (優先受験)	通常 (約10分)		

★マークがついている配慮については、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。審査の上、配慮の適用可否を判断します。

フリガナ		受験番号				-					
氏名		受験会場									

問合せ先電話番号		→ 問合せ先が受験者本人ではない場合は、ご氏名と受験者との関係をご記入ください。
氏名:		受験者との関係:

■ 申請する配慮 (✓をつけ、必要に応じて特記事項を記入)

※技能が免除された場合、成績表に配慮内容と免除技能が記載されます。
※免除となった技能については試験結果をハイフン「-」で表示します。

障がいの状況		申請する配慮				希望する配慮
		Reading	Listening	Writing	Speaking	
病弱	等級なし	✓ 一般と同じ (誘導・試験教室等の配慮)	⇒ 一般と同じ (誘導・試験教室等の配慮)	⇒ 一般と同じ (誘導・試験教室等の配慮)	⇒ 優先受験	✓ 乗用車での来場 ⇒ 「車種」「車両No. (地域を含めた全て)」を特記事項に記載 ✓ 介助者の同伴 (試験中は除く) ✓ その他⇒特記事項に記載
	等級あり ()級	✓ 別室(時間延長なし)★	⇒ 別室(時間延長なし)★	⇒ 別室(時間延長なし)★	⇒ 優先受験	
発達障がい その他	等級あり ()級	✓ 座席指定☆	⇒ 座席指定	⇒ 座席指定	⇒ 優先受験	
	等級あり ()級	✓ 時間延長★	✓ 時間延長★	✓ 時間延長★	⇒ 優先受験	
音声言語障がい	器質性 運動障がい性	通常受験			✓ 免除★	✓ マークがついている配慮については、診断書の他に「状況報告書」の添付が必要です。審査の上、配慮の適用可否を判断します。 ☆「座席配置」「発話への配慮」を希望する方は、障がいの程度と、希望する配慮等のコメントを特記事項や別紙等に記入してください。
	吃音症・その他	通常受験			✓ 発話への配慮☆	
特記事項					✓ 発話への配慮☆	

フリカナ		
氏名		

受験番号				-									
------	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

記入について	<p>○この報告書は、発達障がい・病弱等の理由により別室を申請するにあたり、受験者の状況等を具体的に記入していただくもので、 受験上の配慮に対する意見や要望等を記入していただくものではありません。</p> <p>○時間延長を申請する場合は、『状況報告書(時間延長)』をご利用ください。</p> <p>▼高等学校に在籍中の受験者 ⇒高等学校の担当者(学級担任等)が記入してください。</p> <p>▼高等学校等に在籍していない受験者</p> <ol style="list-style-type: none"> 外部教育機関(予備校等)に所属しており、配慮を受けている場合 ⇒外部教育機関のカウンセラー等、支援担当者が記入してください。 高等学校等で配慮を受けていた者で、申請時に外部教育機関(予備校等)に所属していない場合、外部教育機関(予備校等)で配慮を受けていない場合 ⇒保護者等が、状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。
--------	---

「配慮をしている」を選択した場合は、詳細を右の記入欄に記載してください。	詳細記入欄
1 授業において何か配慮を行っていますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 配慮をしていない。	
2 テストにおいて何か配慮を行っていますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 配慮をしていない。	
3 その他学校生活等において、配慮を行っていますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 配慮をしていない。	

上記記載内容に相違ありません。

記入日： 年 月 日

記入者署名： _____ (印) 受験者との関係： _____

フリカナ		
氏名		

受験番号				-				-				
------	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--

記入について

○この報告書は、スピーキングテストの免除を申請するにあたり、受験者の高等学校等でのスピーキングの学習状況や、スピーキングテスト(学内試験等)の実施状況等を具体的に記入していただくもので、受験上の配慮に対する意見や要望等を記入していただくものではありません。

○聴覚障がいによりスピーキング免除を申請する場合は、聴覚障がい用の状況報告書をご提出ください。

▼高等学校に在籍中の受験者 ⇒高等学校の担当者(学級担任等)が記入してください。

▼高等学校等に在籍していない受験者

- 外部教育機関(予備校等)に所属しており、配慮を受けている場合 ⇒外部教育機関のカウンセラー等、支援担当者が記入してください。
- 高等学校等で配慮を受けていた者で、申請時に外部教育機関(予備校等)に所属していない場合、外部教育機関(予備校等)で配慮を受けていない場合 ⇒保護者等が、状況及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。

スピーキングの授業についてお知らせください。	スピーキングテストについてお知らせください。	詳細記入欄
<input checked="" type="checkbox"/> 授業を通常どおり受けている。	<input checked="" type="checkbox"/> テストを通常どおり受けている。	(授業またはテストで配慮を行っているにご回答いただいた場合は、その詳細と配慮が必要な理由を記載してください)
<input checked="" type="checkbox"/> 授業を受ける時に配慮を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> テストを受ける時に配慮を行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴う授業を免除している。	<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴うテストを免除している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴う授業が無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 学生の発話を伴うテストが無い。	

上記記載内容に相違ありません。 記入日： 年 月 日

記入者署名： _____ (印) 受験者との関係： _____